

宇都宮市におけるアンケート調査 論点のまとめ

<アンケート調査結果のまとめ>

- ・「中心市街地 市街地近郊 郊外」になるにしたがい、以下の事が認められた。
トリップ長および自動車分担率の増加
上記の結果から、CO₂ 排出量の増加
- ・郊外型大規模集客施設の訪問者は、中心市街地訪問者に比べて、一回答あたり、約 3.8 倍 CO₂ 排出量が多い。
- ・通勤時と比較して、休日の方が、自動車分担率が多い。

<論点のまとめ>

1. 政策の対象範囲とその具体的内容

温暖化対策という観点から検討すべき事項としてどのようなものが考えられるか。

郊外型大規模集客施設・郊外型公共施設（既設も含む）に係る CO₂ 排出量削減の考え方

- ・立地、規模のあり方
- ・アクセス手段のあり方
- ・利用者の意識改革（アクセス手段、利用方法）
- ・中心市街地との関係（棲み分け、競合）について
- ・他の施策との連携

オフィス施設に係る CO₂ 排出量削減の考え方

- ・立地、規模のあり方
- ・アクセス手段のあり方
- ・住宅等の周辺地域対策
- ・利用者の意識改革（アクセス手段、利用方法）
- ・商業施設、公共施設との関係（連携等）
- ・他の施策との連携

社会的費用の反映の仕組のあり方

- ・来場者による CO₂ 排出量の算定・公表
- ・経済的手法（税制・駐車場有料化、開発権取引など）
- ・規制的手法

2. 今後の検討の方針

- ・上記および他に検討すべき視点に関連する施策について
- ・各施策の CO₂ 排出量削減効果測定（試算）について
- ・温暖化防止に資するまちづくりの具体的内容について

以上